

公聴会における公述意見の要旨と市の考え方

公述意見の要旨	市の考え方
<p>この地区計画、建築計画そのものに異議を申し立てるつもりは一切ありません。 あくまで、地区計画全体の横浜市の姿勢がどうあるのかということが公述の趣旨です。</p> <p>今回の地区計画の変更にあたり、従前から地区計画区域における公共施設等の整備の方針に、地区内のコミュニティ道路として地区幹線道路を整備し、アート&デザインの街の主体を形成するとありますが、具体的手法を地区計画に盛り込んでほしい。</p> <p>一番重要な点は、変更区域内に市道があり、ギャラリーロードの延長線と認識していますが、道路上に家屋等が建っています。その家屋等を撤去しない限り、ギャラリーロードとしての整備が完了しないと思います。</p> <p>今回の地区計画の変更に伴って、ギャラリーロード全体を整備する方針を立て、時期も含めて明示してほしいというのが一番大きな趣旨です。</p>	<p>ギャラリーロードは、平成2年にヨコハマポートサイド地区地区計画を決定した当初から「地区幹線道路」として主要な公共施設に位置づけており、「地区内のコミュニティ道路として地区幹線道路を整備し、『アート&デザインの街』の主軸を形成する」という公共施設等の整備の方針が規定されています。この方針等に基づき、当該道路の沿道街区における開発等に併せてこれまで整備が行われてきました。</p> <p>御指摘の道路上の家屋等については、これまでも撤去を促しましたが、撤去には至っていない状況です。</p> <p>今回の地区計画の変更は、現在のF-2地区の隣接地において既存建築物の建て替え計画が具体化したことから地区整備計画の区域を拡大することとしたものであり、現時点で地区幹線道路の整備時期が具体化したわけではありません。</p> <p>したがって、その整備時期をお示しすることは困難ですが、今後も引き続き、地区幹線道路の整備完了へ向けて取り組んでまいります。</p>
<p>ギャラリーロードは、ポートサイド地区の開発当初から、地区内の住民のためのコミュニティ道路とするという規定がされているはずで、広報等で明示されています。</p> <p>しかし、コミュニティ道路とすることにあたって、市場大橋の撤去というものがあります。</p> <p>今現在は、東日本大震災の影響で橋の一部が壊れたと聞いており、通行していませんが、以前は、深夜から早朝、トラック等が通行して、非常に迷惑を被っています。</p> <p>このことは、横浜市も従前から十分に承知のことで、早期に市場大橋を撤去して、コミュニティ道路として、住民の歩行者が優先される道路になると想定していますので、早期に整備をしてほしい。</p> <p>臨港大橋ができあがったときには市場大橋を撤去していくという方針だと聞いていましたが、臨港大橋完成後二年経っても、我々が意見を申し上げるまでは都市整備局と経済局の協議が一度もされていなかったという事実もあります。今後は、更に進展するように努力を願いたいと思います。</p>	<p>市場大橋については、東日本大震災の影響により一部で損傷が発生したため、現在は通行止めとし、詳細な点検、調査を行いながら、今後の対応について関係者との調整を行っている状況です。</p> <p>地区幹線道路の整備については、市場大橋のあり方と合わせて、地区計画で定める整備方針に沿ったコミュニティ道路として整備すべく、今後も関係者間で協議を進めてまいります。</p>
<p>旧YCATの跡地がずっと閉鎖されています。</p> <p>旧YCATの跡地は、ポートサイドの計画ができる前段階で、水際線の施設は公共施設とすると明記されています。</p> <p>しかし、平成16年の地区計画の変更により、その一部に横浜市住宅供給公社によってマンションが建設されてしまい、その後公共施設として整備するという方向性は、今のところは明示されていません。</p> <p>住民の意思や要望を聞いて、図書館などの一般的な公共施設を整備する方針を立ててほしい。</p> <p>なお、当該地を今回の計画の工事のための資材置き場等として、又は、今後の工事用の用地として残すのであれば、それは間違いだと思えます。</p>	<p>旧YCAT跡地の土地利用に関しては、現段階で導入する施設やその実施時期等の具体的な内容は決まっていません。</p> <p>引続き地元の方々の意見も参考にしながら、ヨコハマポートサイド地区のまちづくりのコンセプトにふさわしい土地利用の方法を検討してまいります。</p>